

入試直前期の
「リアル」な困りごとを
解決するために。

東大・京大合格のための
入試直前講座 鉄緑会監修
with 動画配信授業

東京大学・京都大学入試直前講座2020

東大	英語	理系 数学	地域および日本の発展のために、ベネッセコーポレーションでは、高校と協力しながら多くの東大・京大合格者を送り出せるよう動き始めています。日本有数の難関大合格実績を誇る鉄緑会のノウハウは、解決のための対策法となるでしょう。このたび東大・京大志望者を対象とした『東京大学・京都大学入試直前講座2020』の受講生を募集いたします。
文系 数学	物理	化学	
京大	英語	理系 数学	

東大・京大志望者が入試直前に抱える 「リアル」な困りごととは？

何をどこまで
答案に
書けばいい？

採点者の視点に立つと、何をどこまで答案に書くべきかが見えてくる。実力を得点に確実に結びつけるための答案の書き方を身につけよう。

限られた本番
時間を
どう使う？

「難題に挑んで玉砕する」時間を「解答済み分の見直し」に当てた方が、得点は上がる。実力内で最高得点を得るための時間配分法を身につけよう。

典型的な頻出
分野に
どう対処する？

解けない場合に差をつけられてしまう、それが典型問題。入試本番の緊張状態においても確実に対処できる確固たる思考回路を身につけよう。

模試で同じレベルの成績を取っていた生徒なのに、なぜか合否が分かれてしまう！ この毎年起きる現実から逆算し、多くの合格者が「解ける問題を増やす」だけではない対策を行ってきました。題意を把握して最速で解答の方向性を定めるには？ 理解できていることを採点官に確実に伝えるには？制限時間内で最大得点を得るには？ 答えは『東京大学・京都大学入試直前講座2020』の中にあり、その具体的方法を過去問演習・直前演習を通じて身につけることができます。既に自分で解いた過去問にさえ、新たな学びがあることを体感してください。

東京大学・京都大学入試直前講座2020

開講期間：2020年1月7日～2月26日

1講座（専用教材+動画配信授業90分×4回）22,000円（税込）

			1講座の構成				
東大	英語	理系 数学	第1回 過去問 教材	第2回 過去問 教材	第3回 過去問 教材	第4回 演習 セット	第5回 演習 セット
文系 数学	物理	化学					
京大	英語	理系 数学	動画配信 90分つき	動画配信 90分つき	動画配信 90分つき	動画配信 90分つき	

- 全7講座のラインナップ。1講座からでも受講が可能。得意科目の仕上げ、弱点科目の補強、使い方はあなた次第！
- 専用教材付き。教材単体での学習、動画をセットにした学習、どちらも選べ、また、各回にテーマが設定されているので、課題を感じているところだけ受講することもできる。
- 「タブレット・スマートフォンでも受講可」×「1.5倍速・2倍速機能付き」。開講期間中はいつでも好きな時に受講できるので、自分のスケジュールに合わせられる。
- 講師は現役の東大・京大生なので、受験生の視点で具体的な学習法を提示（ホームページにて講師からのメッセージ動画を掲載中 tetsuryoku-kobetsu.jp）

※消費税は10%となります。

※お申込みいただいた方には専用教材をお届けします。教材は全5回（過去問題教材3回、演習セット2回）で構成されており、うち4回（過去問題教材3回、演習セット1回）は動画配信授業（録画）も行います。

※動画配信授業視聴なしでも完結できるよう教材を制作しておりますので、教材単体での学習も可能です。

※インターネットを通じて授業を配信します。ご家庭のパソコン・iPad「スマートフォン」を含むタブレット端末でご受講ください。

※動画配信を視聴できなかった場合でも払い戻しはできません。

※講座内容は一部変更する場合があります。

解くべき問題を見極めて
得点力を最大化せよ。



東京大学の理系数学は、「解くべき問題を試験時間内にしっかり見極めて解き切れるか」が大きなポイントとなります。もっと取れていたはずなのに…このような悔しい思いをした受験生もこれまで数多くいます。この講座では、数学入試において「1:できなかったはずなのにできなかった」「2:できたのに点が来なかった」をなくし、みなさんのこれまで高めてきた実力を100%得点に変換することを目指します。具体的には、典型問題を見逃さない戦略、無駄な失点をしない答案作成法などを紹介し、限られた試験時間内での得点力を最大化します。加えて、「3:頻出テーマ(軌跡領域・最大最小問題・確率漸化式)」のまとめも行い、基礎力の底上も図ります。

「1:できなかったはずなのにできなかった」「2:できたのに点が来なかった」をなくし、みなさんのこれまで高めてきた実力を100%得点に変換することを目指します。具体的には、典型問題を見逃さない戦略、無駄な失点をしない答案作成法などを紹介し、限られた試験時間内での得点力を最大化します。加えて、「3:頻出テーマ(軌跡領域・最大最小問題・確率漸化式)」のまとめも行い、基礎力の底上も図ります。

	テーマ	内容
第1回	理系数学総論・問題文解釈・答案作成	初回は総論を押さえつつ、どのように問題文を解釈してレベル感を見極めるのか、無駄な失点をしない、取れるべき点数をしっかりと取るための答案作成を、東大受験生によくあるミスも交えながら紹介します。
第2回	時間配分戦略	今回は時間配分の事前心構えに加え、多くの合格者が本番当日に強く意識していた「目標点数と今取れている点数のギャップを限られた時間の中でいかに埋めるか」について、検算タイミングもふまえた実例を交えながら、ポイントを解説していきます。
第3回	重点分野講座	この回では頻出分野でありながら体系的なまとめが不十分になりがちである「最大最小問題」「軌跡領域問題」「確率漸化式問題」の3分野を重点的に学びます。
第4回	演習セット問題	東大理系数学の形式に準じた演習セットを通じて、これまで学んだことの実践力を磨いていきます。

※教材には、もう1回分の演習セット問題が第5回(配信授業なし)として収録されています。
※鉄緑会にお通いの受講生も受講は可能です。収録問題が鉄緑会テキスト等と重複する場合があります。

講座の一例

※実際の内容・レイアウトは変更する場合があります。

1 東大に合格する人は問題文から何を読み取っているのか、思考の流れを言語化

2011年第4問
座標平面上の1点 $P\left(\frac{1}{2}, \frac{1}{4}\right)$ をとる①。放物線 $y = x^2$ 上の2点 $Q(\alpha, \alpha^2)$, $R(\beta, \beta^2)$ ②を、3点 P, Q, R が QR を底辺とする二等辺三角形③をなすように動かすとき、 $\triangle PQR$ の重心 $G(X, Y)$ の軌跡④を求めよ。

Step1. 条件と問いかけの整理

① 条件
① → 点 P の座標
② → 点 Q, R の座標
③ → 3点の位置関係に関する条件
④ → G に関する条件

② 問いかけ
■ → 題意をみたす点 P, Q, R のなす三角形の重心 G の軌跡

Step2. 問題文の理解

① 何を求める問題なのか
↓
点の軌跡
↓
軌跡を求める問題の定石

② 条件を整理して状況把握 → 予想、見直し
✓ 日本語を数式化
今回、日本語で与えられた条件として、条件③, ④がある。
 QR の垂直二等分線を $y = f(x)$ とすると、
・ 条件③ → P を通るので、 $\frac{1}{4} = f\left(\frac{1}{2}\right)$
・ 条件④ → $X = \frac{\frac{1}{2} + \alpha + \beta}{3}$

Step3. 問題の分析

▼レベル感の把握
点の軌跡を求める問題自体は典型問題であるので、流れ自体は簡単に掴めるだろう。しかし、条件が複雑になりそうなので途中で計算が詰まる可能性はある。部分点は取るべき、もしくは完答すべき問題のどちらかだと考えられる。

▼レベル感を元にした戦略
部分点は取るべき、もしくは完答すべき問題のどちらかと判断できるので、少なくとも20分は割くべきだろう。まずは10分考えてみて、解けるようであればそのまま完答してしまい、途中で置く点があれば一旦放置し必ず戻って来よう。

Step4. 答案作成

▼この減点に注意
今回、二等辺三角形であることを垂直二等分線を用いていうのであれば、傾きを求める際に(分母) $\neq 0$ をきちんと断ろう。また、当然 α, β の存在条件の確認も忘れてはいけない。

▼少しでも点を取るために
たとえ全体の流れが見えていなくても、今回の条件を整理して、数式にできるところは数式に解答に残そう。また、途中で計算が止まっても、何をしたいのかの指針を書いておこう。



「試験当日は運次第」、このような認識ではたった1度の試験で確実に結果を残す事は出来ません。あなたの実力を確実に発揮出来るよう、この直前期に準備することをお伝えします。

3 限られた試験時間で最大の点数を得点するべく、問題のレベル感を基にした時間配分戦略を紹介

4 よくありがちな記述漏れを防ぎ、少しでも部分点を多く取れる答案作成を徹底

2 解答の流れ・問題のパターンをチャート化

昨年度受講者の声

「ポイントが絞られており最後のまとめとして理解が深まった。」「直前期に大事なところを復習できてよかった。また、直前期の勉強方法も参考になった。」「自分が間違いやすいポイントが分かった為、その点に注意しながら学習出来て、本試験で活かされた。」

英語が出来ることと、
点が取れることは別物だ。



東大の本番では想定以上に聞き取りにくいリスニングの音声、記述問題の厳しい採点基準などをはじめとして、様々な「つまづき」のポイントが存在します。普段の学習や模試の段階で英語力に自信を持っている場合でも、本番で点がもらえる戦い方・答案の書き方を出来ていないケースは珍しくありません。東大合格のためには、過去の受験生たちが陥ってきた罠の存在を知り、想定外を想定して柔軟な時間配分・得点戦略を組み立てる技術が必要不可欠です。さらに本講座では、「自分の書いた記述答案で何点もらえるかわからない」というみなさんの声に応え、想定される採点基準の紹介、和訳の意識vs.直訳バランスや指示語の扱い、英作文の内容・論理面の組み立て方など、減点されない記述答案の書き方をポイントにまとめて伝授していきます。

東京大学入試直前講座2020 物理

基本事項を深く理解することが
問題を解くための近道だ。



東大物理は制限時間が厳しい上に、問題を解く上で完全な理解が求められます。そのため、この講座では東大物理の問題に対処するための理解を再確認します。東大物理の問題では、高校の授業で習った当たり前の知識を使い、「なんとなくこうだと思う」で解くのではなく、「絶対にこうなる」という確信を持つことが求められます。「基本事項を深く理解することが問題を解くための近道だ」という感覚をつかんでいただくことができるでしょう。その他、部分点をもらえる答案の書き方、理科全体としての時間配分にも言及し、最終的な得点の最大化を図ります。

東京大学入試直前講座2020 化学

どの問題に「時間をかけない」べきか
リアルな視点を伝授。



東京大学の理科は、制限時間が厳しく、現実的な対処方法を知ることが大きなポイントとなります。本講座では、実際の東大化学の過去問を使用しながら、「死守する」知識問題、「その場で考える」思考問題、「正確に速く解く」簡単な計算問題、「取れたら差がつく」複雑な計算問題の4つに分類し、「どの問題に時間をかけないべきか」を解答者のリアルな視点から伝えていきます。また、理論・無機化学分野における典型的な記述問題の対策をすることで、表面上の暗記ではなく深い理解に裏付けされた説明力を身につけ、さらに+1点、+2点ずつの得点が望める状態を目指します。

	テーマ	内容
第1回	東大英語の特徴と攻略法	時間制限の厳しい東大英語において、大問5つの特徴(敵)と自分の得意不得意(己)を知り、最適な戦略を構築することは得点を最大化するための第一歩です。「完璧を求めすぎて記述を拘りすぎてしまう」など、受験生のリアルをふまえ、現実的な対応を紹介していきます。
第2回	「減点されない答案」の書き方	採点官の目線で「1点も与えたくない答案」や「採点していてももったいない答案」などの例を紹介しながら、「採点官目線で答案を見るときは?」について学べるようにします。
第3回	記述分野各論	第2回で学んだ記述答案の落とし穴を踏まえつつ、英作文・要約・和訳の記述3分野それぞれにおいて、その問題に限らず「どのような問題がきても」安定して隙のない答案を書くためのメソッドを伝授します。
第4回	東大英語攻略のまとめと実践	東大英語の形式に準じた演習セットを通じて、これまで学んだことの実践力を磨いていきます。ただし、あえて新傾向問題や高難易度の問題を織り交ぜた一冊ある演習セットであり、想定外への対応力を問われることになるでしょう。

※教材には、もう1回分の演習セット問題が第5回(配信授業なし)として収録されています。
※鉄緑会にお通いの受講生も受講は可能です。収録問題が鉄緑会テキスト等と重複する場合があります。

	テーマ	内容
第1回	東大物理総論	東大物理の問題は、学校で習った基本的な公式をいかに使いこなせるかが全てです。それぞれの公式を原理から理解することでそれらを使いこなし、その思考回路を採点官に伝えるための方法論を学びます。
第2回	実力を出し切る	限られた制限時間の中で自分の実力を出し切り、より高い得点を取るための時間配分戦略に言及します。また、正確な計算の必要なグラフ問題で、より早く正確な答えにたどり着くための手法を学びます。
第3回	難問に対処する	近年の東大入試では、理科の問題の傾向が変わりつつあります。急に問題が難しくなったとしても最低限の得点を取ることができるよう、問題量が多い時や問題が難しい時の解く問題の取捨選択について考えます。
第4回	演習セット問題	東大物理の形式に準じた演習セットを通じて、これまで学んだことの実践力を磨いていきます。

※教材には、もう1回分の演習セット問題が第5回(配信授業なし)として収録されています。
※鉄緑会にお通いの受講生も受講は可能です。収録問題が鉄緑会テキスト等と重複する場合があります。

	テーマ	内容
第1回	東大化学総論・時間配分・近年の傾向	理科は制限時間が非常に厳しく、「時間をかける」=「そこで点数を取らなければいけない」となります。従って、時間があれば解ける問題でも、入試では「取れたら差がつく複雑な計算問題」に実際は値するなど、4つの分類をリアルな視点から学びます。
第2回	答案作成上のポイント	東大化学は2周(1周目は早く確実に解ける問題・箇所を解き、2周目で取りこぼしに挑む)で解くケースが王道ですが、1周目と2周目の答案作成の違いについて、受験生の手元答案を意識して学びます。加えて、解答用紙の使い方も学びます。
第3回	記述問題対策	東大化学は「一度は書いたことのある典型記述」が近年多く出題されています。しかしながら、満点答案は少ないため、「どのような観点をもたえて記述すればいいのか」を理解の再構築も行いながら学んでいきます。
第4回	演習セット問題	東大化学の形式に準じた演習セットを通じて、これまで学んだことの実践力を磨いていきます。

※教材には、もう1回分の演習セット問題が第5回(配信授業なし)として収録されています。
※鉄緑会にお通いの受講生も受講は可能です。収録問題が鉄緑会テキスト等と重複する場合があります。

解ける問題に集中するために、
問題を3つに分類せよ。



東京大学の文系数学は、「解けるべき問題が試験時間内にしっかり解けるか」が大きなポイントとなります。この講座では、東大入試問題を「1:典型的な解法で解ける問題」「2:試験会場で試行錯誤が必要な問題」「3:(1・2の)結果諦める問題」の3つに分類する手法・考え方を学びます。この手法は新しく知識を習得するというより、むしろ今までみなさんが勉強して培った力を再整理することにより、限られた試験時間の中で持っている実力を「得点力」に変換することを意識して講座を設計しております。加えて、答案作成上のよくなるミス・注意点、典型的な解法のまとめも講座に取り入れ、最終的な点数の底上げも図ります。

を再整理することにより、限られた試験時間の中で持っている実力を「得点力」に変換することを意識して講座を設計しております。加えて、答案作成上のよくなるミス・注意点、典型的な解法のまとめも講座に取り入れ、最終的な点数の底上げも図ります。

	テーマ	内容
第1回	文系数学総論 (問題の特性の 解釈・見極め)	勉強には実力を伸ばす、得点力を伸ばすの2通りがあります。得点力とは「時間内」「獲得可能な最大点数を判断し」「その点数を獲得する」能力です。第1回では問題を3つに分類する手法・考え方を学び、実力に加え、得点力の総論を押さえます。
第2回	文系数学各論 (分類毎の答案作成・ 時間戦略)	第1回で学んだ分類方法をふまえ、第2回ではそれぞれの分類毎の対処方法を深堀りします。「諦める問題はどの時点でどう判断して諦めるのか」、「完答出来ない問題に対してどこまで書けば部分点が期待できるか」など、現実的な対応を学びます。
第3回	重要分野講義	入試問題には「差をつけられる問題」、即ち典型問題だが点数を得られない場合、多くの受験生に遅れをとる問題があります。第3回では典型解法のまとめ(軌跡領域・関数最大最小など)を学び、しっかり取るべき問題を取る方法を学びます。
第4回	演習セット問題	東大文系数学の形式に準じた演習セットを通じて、これまで学んだことの実践力を磨いていきます。

※教材には、もう1回分の演習セット問題が第5回(配信授業なし)として収録されています。
※鉄緑会にお通いの受講生も受講は可能です。収録問題が鉄緑会テキスト等と重複する場合があります。

京都大学入試直前講座2020 理系数学

基本的な力で解ける問題を逃さない
ことが合否の分水嶺と心得よ。



京大理系数学の問題をすべて難問だと思い込んでいる受験生が多い一方で、基本的な力で解けない問題はどの程度あるのでしょうか。実際、京大入試における合否の分水嶺は「基本的な問題を見つけ出す力」「答えを導き出す力」に加え「大きな減点をされない答案作成力」が備わっているかどうかです。本講座では、「整数」「確率漸化式」「数Ⅲ(面積・体積)」の京大理系数学における頻出3分野を扱う中で、前述の力を育成するとともに、直前期のその他分野の学習における指針としてもらうことを目的とします。

京大理系数学における頻出3分野を扱う中で、前述の力を育成するとともに、直前期のその他分野の学習における指針としてもらうことを目的とします。

	テーマ	内容
第1回	整数 ~整除関係の利用~	整数分野の解法を一对一対応で考える受験生が多いが、実際は統一された「ある考え」を基にした、あらゆる問題へのアプローチ手段が存在する。第1回ではその考えを基に様々な整数問題へ取り組み、問題を見極める力や答えを導き出す力を養う。
第2回	確率漸化式	第2回では実験、推移図の重要性を解説する中で、漸化式を確実に立式できるようにする。加えて受験生が不慣れた連立漸化式の解法を整理することにより、当日解けるべき問題の答えを導き出す基盤を形成する。
第3回	数Ⅲ積分 (面積・体積)	第3回では受験生が苦手とすることの多い面積・体積について、基礎問題の演習を通じて立式方法を体得する。併せて、積分の計算を行うにあたって留意すべき点を見直すことにより、得点すべき問題を確実に得点化することを目的とする。
第4回	演習セット問題	京大数学の形式に準じた演習セットを通じて、これまで学んだことの実践力を磨く。また受験生が不安に感じている答案作成、つまり減点されない答案をどう書くかを考える。

※教材には、もう1回分の演習セット問題が第5回(配信授業なし)として収録されています。
※演習セット問題には京大前期以外(京大後期、他大学)の入試過去問が含まれる場合があります。
※鉄緑会にお通いの受講生も受講は可能です。収録問題が鉄緑会テキスト等と重複する場合があります。

京都大学入試直前演習2020 英語

京大特有の問題を把握し、
合格を自分のものにせよ。



京大英語の入試を突破するためには、これまでに身につけてきた読解力や記述力を活かして的確な答案を書くことが求められます。しかし、入試本番で本来の実力を発揮できる受験生は果たしてどの程度でしょうか。近年の出題傾向の変化や、京大特有の「自由さ」が答案記述に迷いを生じさせ、これにより受験生が安定して本来の実力を発揮することが難しくなっています。本講座では、あらゆる難度や出題パターンを想定した上で合格点に到達するために必要な方略を説明し、試験会場で落ち着いて合格点を取る力を鍛えます。

本講座では、あらゆる難度や出題パターンを想定した上で合格点に到達するために必要な方略を説明し、試験会場で落ち着いて合格点を取る力を鍛えます。

	テーマ	内容
第1回	京大英語の 合格ラインとは?	第1回では長文読解における京大英語の合格ラインを知る。そして、どんな難度の問題に対しても合格ラインの答案を書けるよう、基本的な文構造把握の手法や英文の読み方を理解する。
第2回	点数に結び付く 英作文の書き方	第2回では英作文を扱う。和文英訳では、京大に特徴的な英訳しにくい日本語の解釈を学ぶ。さらに近年の傾向が掴みにくい条件英作文にも対応すべく、「書くべき内容の方向性を合わせる」「点数に繋がる文章を書く」ことができるようにする。
第3回	受験生を悩ませる テーマ概説	抽象的な文章をどう読みこなすか、また要約型の説明問題でどこまで掘り下げて書くべきか。試験本番で受験生を悩ませるこれらの課題に切り込む。解決策を講じながら、その本質が第1回で形成した基盤の延長線上にあるということを理解する。
第4回	演習セット問題	京大英語の形式に準じた演習セットを通じて、第1回~第3回で学んだことを実践する力を磨く。

※教材には、もう1回分の演習セット問題が第5回(配信授業なし)として収録されています。
※演習セット問題には京大前期以外(京大後期、他大学)の入試過去問が含まれる場合があります。
※鉄緑会にお通いの受講生も受講は可能です。収録問題が鉄緑会テキスト等と重複する場合があります。

動画配信授業 視聴環境

●ご受講には、パソコンやタブレットが必要です。以下、利用可能な機種・動作環境を、必ずご確認ください。

- ・パソコンからの受講:受講にあたっては、「Adobe Flash Player」最新バージョンを必ずダウンロードしてください。最新版でない場合、ライブ授業が受けられない場合があります。
- ・タブレット、スマートフォンからの受講:事前にアプリ「V-CUBE セミナーモバイルアプリ」をインストールしてください。

●動作環境は以下をご覧ください。

https://jp.vcube.com/service/seminar/overview/req_seminar.html

※無線LANは通信が不安定になる場合がございますので、可能な範囲で有線LANでのご受講を推奨します。

※動作環境を満たしている場合でも、機種や各種環境の組み合わせによって正常に動作しないことがあります。

※お客様のパソコン環境、セキュリティソフト環境、回線環境に関するサポートはお受けしていません。

※詳しくはホームページをご参照ください。

お申込み、受講開始までの流れ

講座内容の詳細、お申込み方法は2020年1月7日よりホームページにてご確認ください。

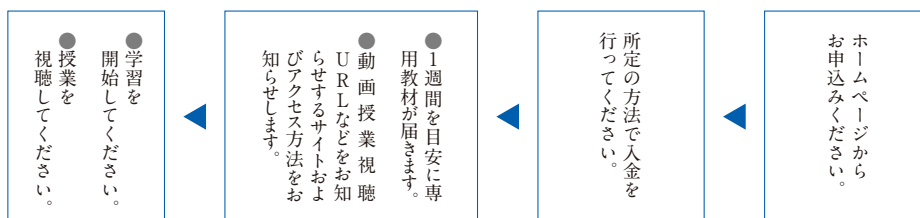
ホームページURL

tetsuryoku-kobetsu.jp

検索の場合

セミナー案内鉄緑会

検索



※動画配信を視聴できなかった場合でも払い戻しはできません。

なお、2020年1月7日(火)～1月31日(金)までは視聴することが可能です。

※動画配信授業視聴なしでも完結できるよう教材を制作しておりますので、教材単体での学習も可能です。

お申込み受付期間

受付期間:2020年1月7日(火)～1月31日(金)

受付期間内であってもお申込み多数の場合は、先着順で締め切りとさせていただきます。

東京大学受験指導専門塾 鉄緑会

鉄門倶楽部(東大医学部同窓会)と緑会(東大法学部同窓会)の頭文字を名前の由来とする鉄緑会は、東大医学部と法学部の卒業生・学生たちが立ち上げた東京大学受験指導の専門塾です。1983年の創設以来、極めて高い合格率で多数の東大・国立医学部合格者を輩出してきました。鉄緑会の歴代の卒業生たちは、国内外問わず、医学界、法曹界、官界、学術界などで幅広い活動を展開しています。

2019年度 鉄緑会合格実績(抜粋)
東京大理工三類/59名(定員97名中)
東京大/460名
国立医学部/514名

2019年度 鉄緑会学校別中高6学年在籍者数(抜粋)
開成/901名 桜蔭/787名
筑波大附属駒場/486名
灘/322名 洛南/457名

鉄緑会個別指導センター

鉄緑会が認定した
優良講師による唯一の個別指導塾

鉄緑会受講生への個別指導によるフォローを目的として、Benesse鉄緑会個別指導センターは2010年にスタートしました。監修の鉄緑会、運営のベネッセコーポレーションによる共同設立となります。講師陣は、鉄緑会卒業生の中でも特に成績上位層を中心に厳選され、鉄緑会の教材・カリキュラム・指導方針を熟知しております。鉄緑会校舎に通うことが困難な方(遠隔地在住)を対象としたWeb指導コースも設置しております。

